

	全国で初めての取り組み！ 練馬区と富士通、住民税業務への AI導入に向けた共同実証を開始
と き	10月9日から
と ころ	練馬区役所（豊玉北6丁目12番1号）
<p>区は、本日から、富士通株式会社と共同して住民税業務へのAI導入に向けた実証を開始する。</p> <p>現在、富士通製のシステムで、給与支払報告書や確定申告書などの資料の管理や税額計算を行っているが、修正や確認を必要とする不整合リストは7万件を超え、そのうちの約半数を2週間の短期間で処理している。処理は、職員の手作業によるもので、豊富な知識・経験を必要とし、職員の負担も大きい。</p> <p>そこで、ベテラン職員が中心となって行っている確認・修正作業をAIに学習させ、修正内容の提案や処理不要判定を担わせることで、作業時間を大幅に削減するとともに、ベテラン職員の知見を組織で共有し、問合せ対応などの区民サービスのさらなる向上を目指す。</p> <p>今後、過去事例を用いてAIの提案内容の妥当性を検証し、令和2年4月から新年度データでの検証を実施する。</p>	

【現状と課題】

例年4月中旬、システムが一斉に税計算を行う際、給与支払報告書と確定申告書給与収入の額が違うなど、資料間でデータの不整合を検出し、確認用のリストを出力する。

リストは約7万件と大量に出力され、職員が手作業で確認・修正を行っている。

税額通知書の発送スケジュールの関係から、7万件のうち約半数を2週間という短期間で処理する必要があり、豊富な知識・経験を必要とし、職員の負担も大きい。

（参考）令和元年度のスケジュール

4月12日 資料の統合→確認用リストの作成(72,619件) ※区の人口増や法改正により年々増加傾向にある。

4月15日～26日 全体のうち、給与特別徴収対象者に係る約33,000件のリストを確認・修正

⇒ 5月10日 給与特別徴収税額通知発送

5月1日～31日 残ったリスト全件の確認・修正

⇒ 6月10日 普通徴収・年金特別徴収納税通知書発送

【解決の方向性】

AIを活用し、確認・修正作業を効率化・自動化する。

- ・不整合の内容と修正方法の関連性をAIに学習させる。
- ・AIが、採るべき処理を提案し、一部の処理に自動修正を行う。

【今後のスケジュール】

令和元年10月～過年度データでの共同実証開始

令和2年4月～新年度データでの共同実証開始予定

【参考】関連リンク

富士通株のプレスリリース：<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2019/10/9.html>

【問い合わせ】

練馬区 税務課 区税電算係 03-5984-2703